

コープ自然派と 生協ネットワーク21の ネオニコフリー 取り組み

2023/1/22

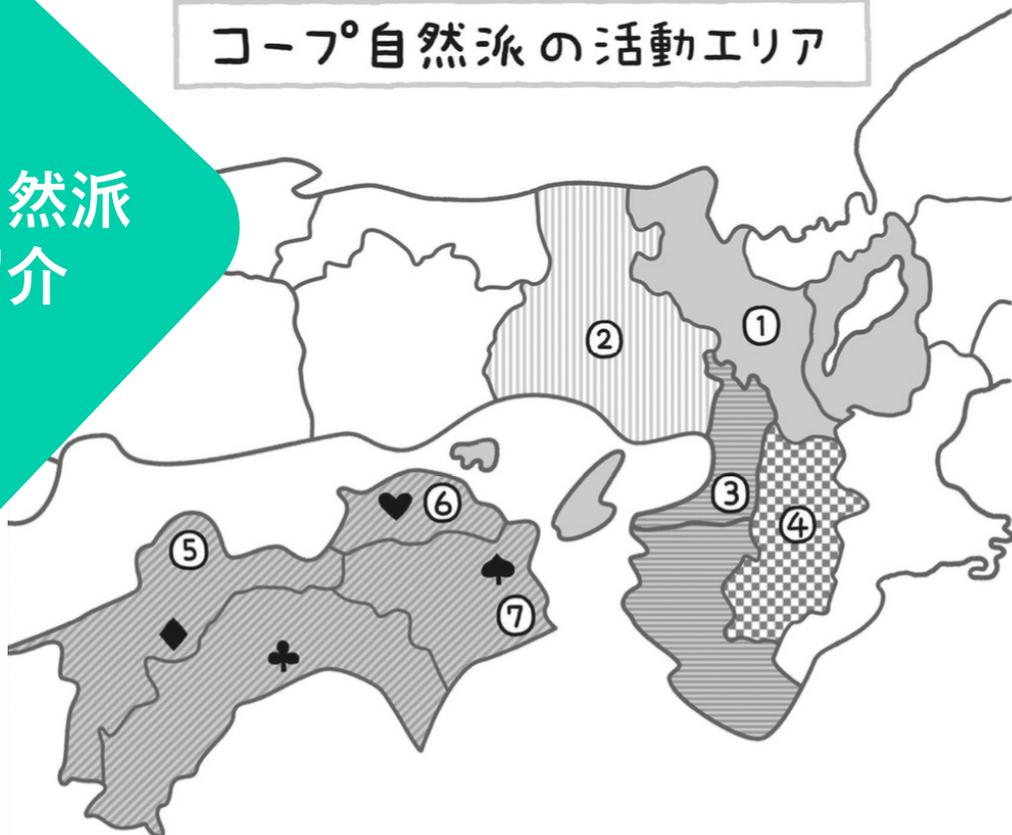
第7回Future Dialogue
オーガニック市場を
拡大しよう！

ネオニコフリー農産物の
サプライチェーン全体を
考える

コープ自然派事業連合副理事長 辰巳千嘉子

コープ自然派 自己紹介

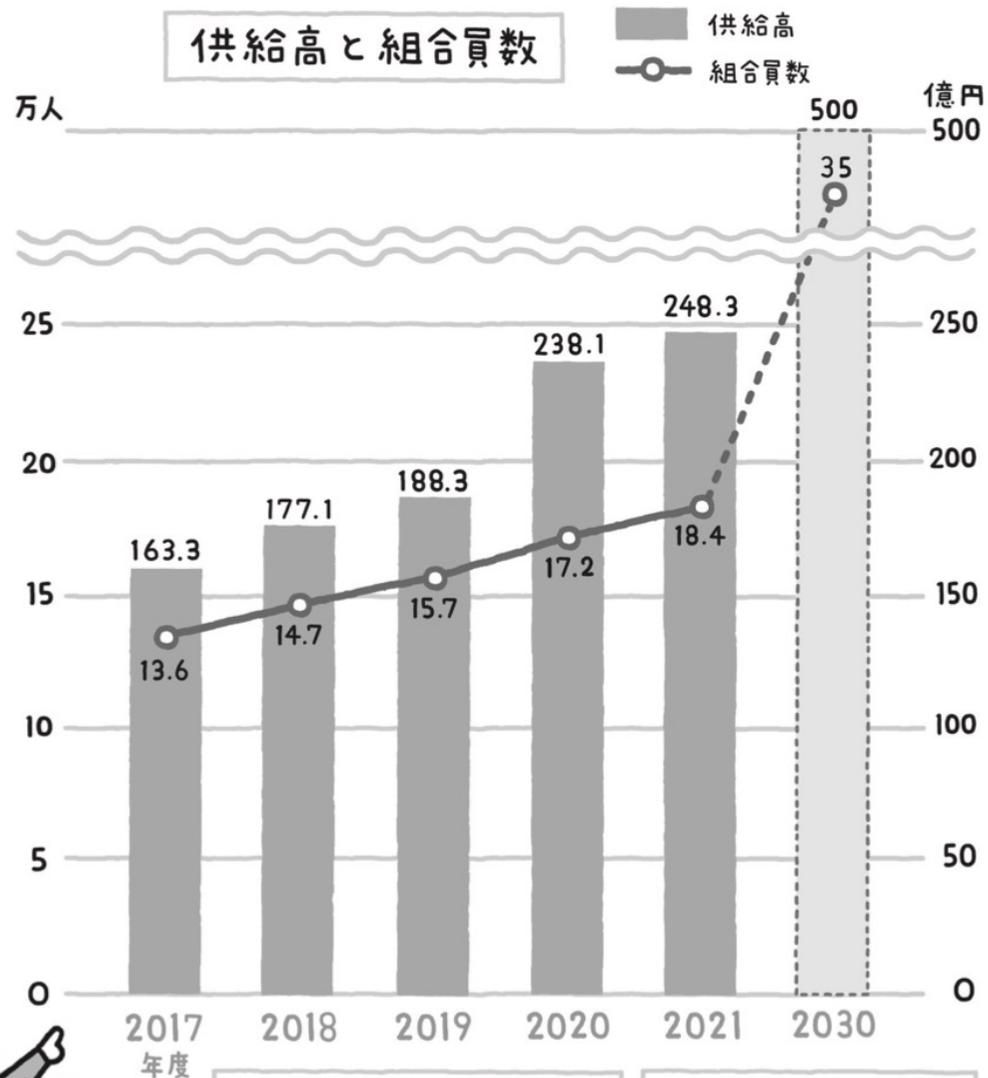
コープ自然派の活動エリア



30年以上の歴史を持っている生協もある

- | | |
|---------------|------------|
| ① コープ自然派 京都 | ⑦ 徳島学校生協 |
| ② コープ自然派 兵庫 | ♥ オリーブセンター |
| ③ コープ自然派 おおさか | ♣ 徳島センター |
| ④ コープ自然派 奈良 | ◆ えひめセンター |
| ⑤ コープ自然派 しこく | ♣ こうちセンター |
| ⑥ 香川県学校生協 | |

供給高と組合員数

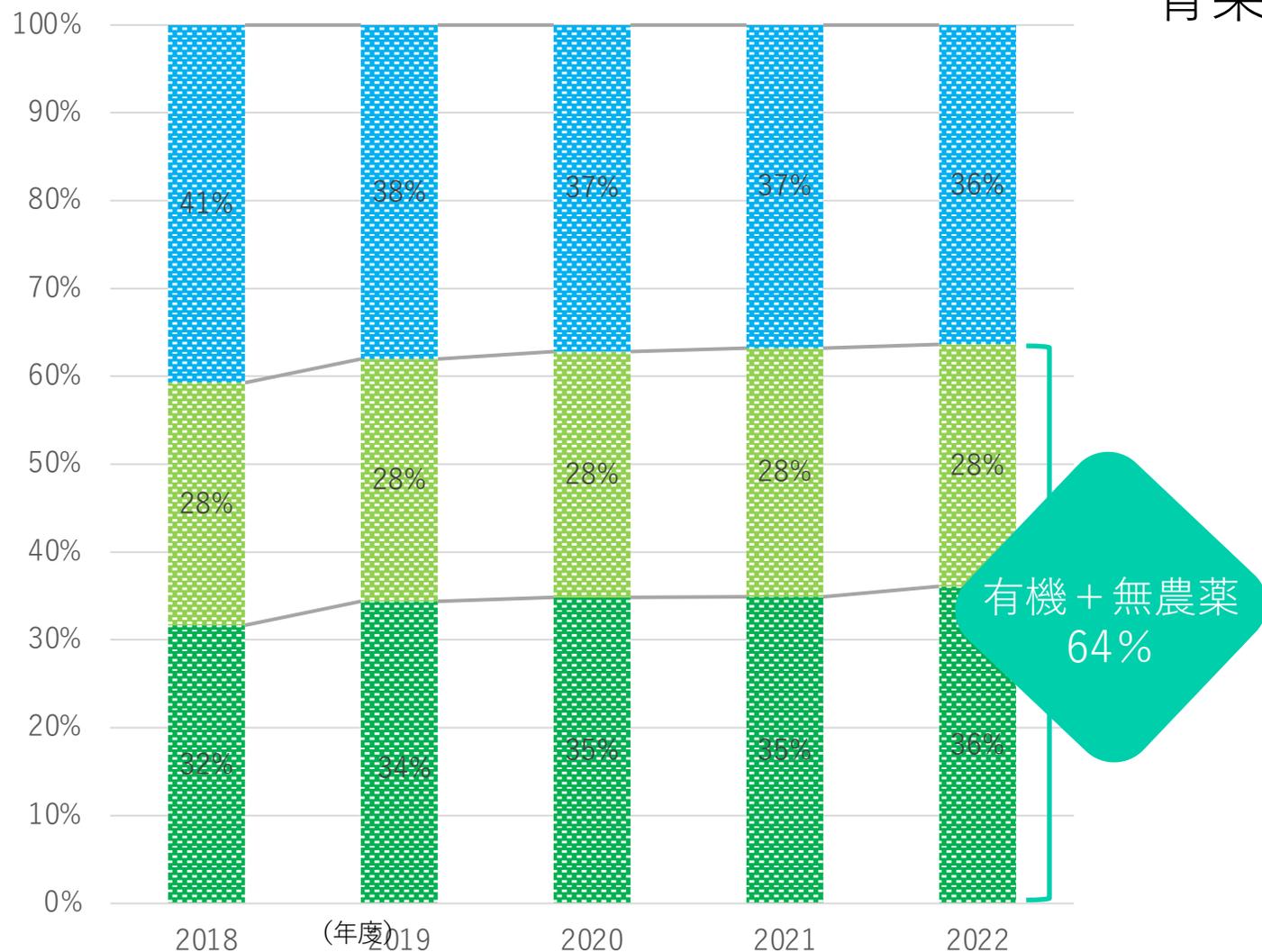


2021年度
供給高前年比 104.3%
組合員数前年比 107.3%

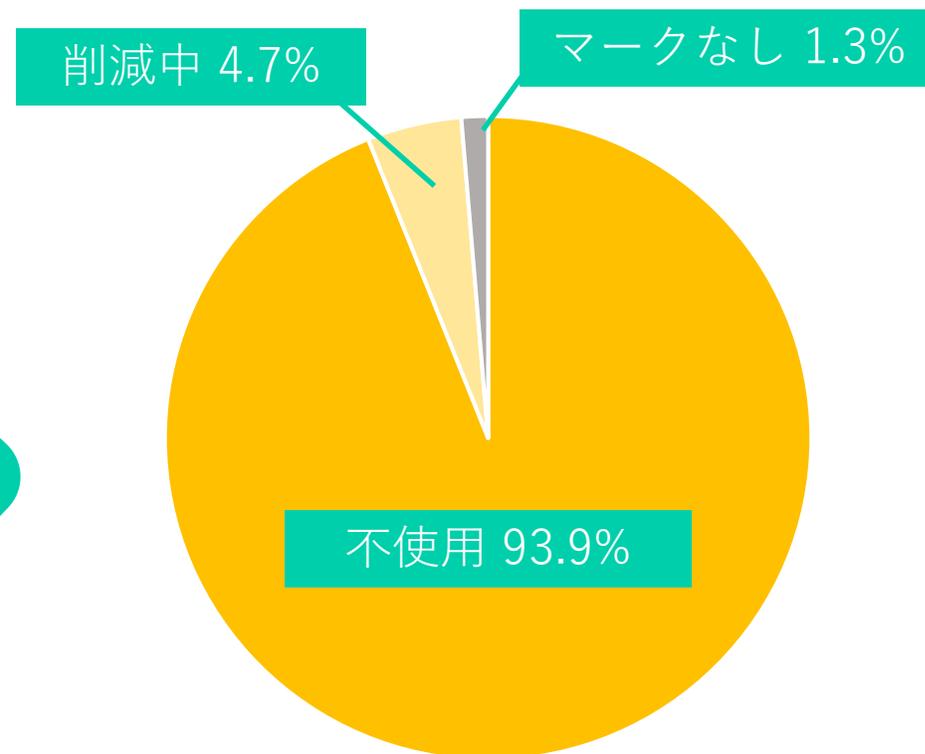
2030年度 目標
供給高 500 億円
組合員数 35 万人



コープ自然派の青果供給割合



青果のネオニコチノイド系農薬マーク受注数割合 (2022年度4月~12月)



1号~26号比較 (2020年度のみ2号~27号) ■ 有機 ■ 無農薬 ■ 省農薬



まずは
学ぶことから
始まりました

01

- 2010. ネオニコ系農薬問題について啓発があった
(ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議の中下裕子さん)
- 2010.3. 商品案内50号でネオニコチノイド系農薬の問題提起
- 2010.5. 生産者クラブ定例学習会で学習会を開催
- 2010年度 ネオニコチノイド系農薬を**注意喚起農薬**に指定

当時、ネオニコ系農薬の排除はムリだというのが一般的な中で
大きな不安がありました、

子どもたちを守るために「排除」の判断をしました。

そして、生産者とともに学び、**注意喚起農薬**に指定

組合員には

毎年、商品案内の特集ページで年に数回取り上げ問題点の共有化 + 学習会を開催



十分な準備期間を経て
問題農薬に指定

02

2012年度 環境創造米の取組（ネオニコ農薬の本田防除なし）

2014年度 新商品取扱基準農産物基準（ポストエイ基準）
順次、ネオニコチノイド系農薬を**問題農薬**に指定
※段階的排除 **水稻→青菜→果菜→果実**

2014. ミカンはちみつ（徳島）から残留農薬

2015.7. リンゴ産地（長野）生産者合同学習会

2015.12. 第1回生産者消費者討論会 学習会・分科会を開催

2015.12. ツルをよぶお米（徳島）生産者との合同学習会

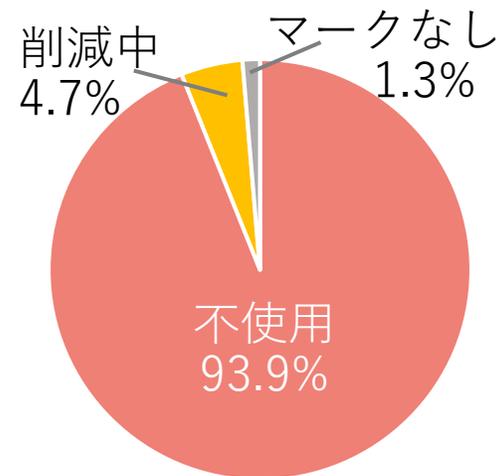
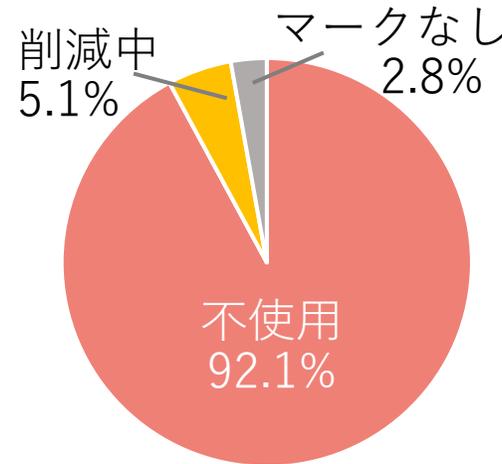
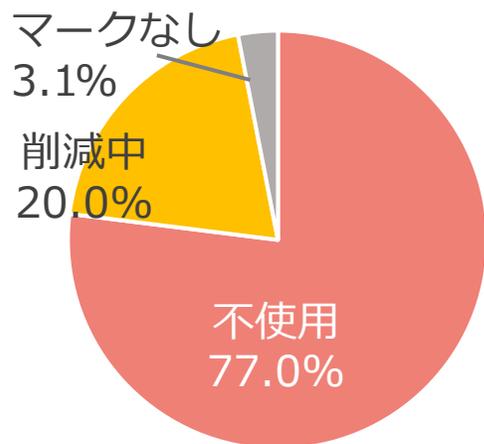
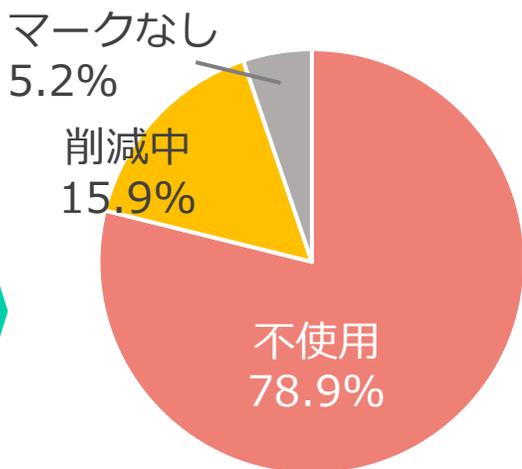


03 「選ぶ」ための 情報公開

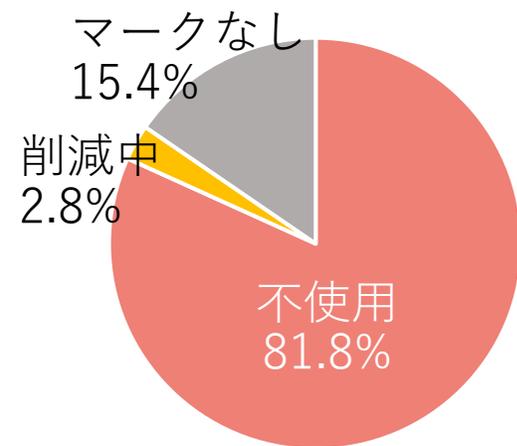
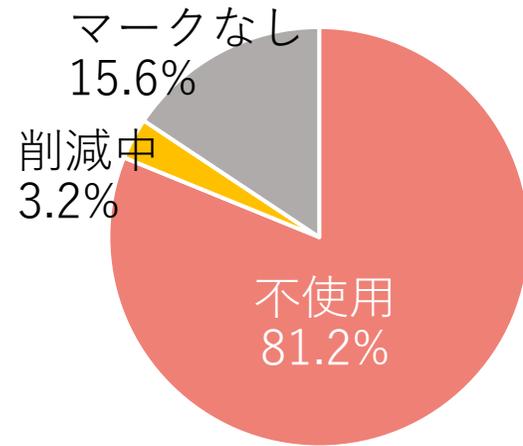
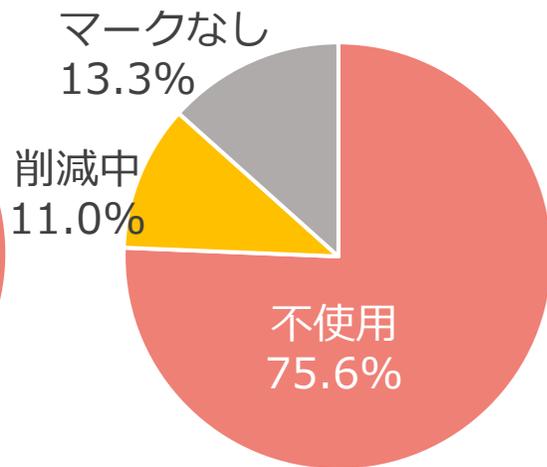
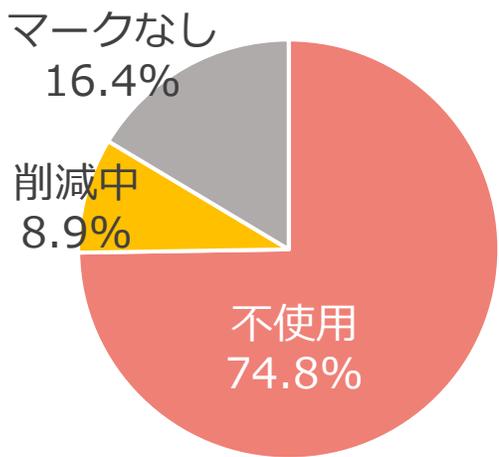
2017.4. 商品カタログに
ネオニコフリーマーク表示開始
「選ぶ」ことで生産者を応援！



受注数
割合



企画数
割合



2017年度

2018年度

2021年度

2022年度



ネオニコフリー産地での ドリフト問題

04

- 2020.12. ネオニコフリー農作物からネオニコ系農薬の微量検出
- 2021.5. ネオニコ系農薬が検出されたリンゴ産地（青森）
コロナ禍のためオンライン交流・学習会開催
- 2021.7. ネオニコ系農薬が検出されたみかん産地（熊本）訪問
産地確認、産地合同学習会
- 2022.9. ネオニコ系農薬が検出されたりんご産地（青森）訪問
産地確認、産地合同学習会





ネオニコフリー産地での ドリフト問題

04

- 2020.12. ネオニコフリー農作物からネオニコ系農薬の微量検出
- 2021.5. ネオニコ系農薬が検出されたリンゴ産地（青森）
コロナ禍のためオンライン交流・学習会開催
- 2021.7. ネオニコ系農薬が検出されたみかん産地（熊本）訪問
産地確認、産地合同学習会
- 2022.9. ネオニコ系農薬が検出されたりんご産地（青森）訪問
産地確認、産地合同学習会



カメムシ リンゴワタムシ 褐斑病

←ドリフト（近隣の畑から農薬が飛散）

ネオニコ系農薬排除
国産オーガニック推進を
共通テーマに

1
めざすこと

ネオニコフリーを選ぶ
消費者・生産者を増やす

2
めざすこと

ネオニコフリーマークを
導入する生協を増やす



【加盟生協】

- あいコープみやぎ
- あいコープふくしま
- よつ葉生協
- 常総生協
- なのはな生協
- しぜんはくらぶ
- ナチュラルコープヨコハマ
- やまゆり生協
- アイチョイス事業連合
- コープ自然派事業連合
- 8生協 + 2事業連合

生協ネットワーク21 連携オンライン学習会/2022

3回で約1000名参加

1 2022.2.23.

「ネオニコ系農薬 子どもたちへの影響は？」

講師：平久美子さん

2 2022.3.21.

「哺乳類の脳神経への影響と毒性評価」

講師：星信彦さん

3 2022.4.22.

「ネオニコフリーの栽培技術
～みどり戦略の実現に向けて」

講師：小祝政明さん



生協ネットワーク21 連携開催 / コース自然派産直委員会

ネオニコフリー 連続オンライン学習会

Zoom
開催

子どもたちの未来を守るために ネオニコフリー

みどりの食料システム戦略では、2040年までにネオニコ系農薬を含む化学農薬の使用をなくす方針が出されましたが、あと20年使い続けて子どもたちは大丈夫??連携してネオニコフリーを実現し、産直にも、学校給食にも、国産オーガニックを拡げていきましょう。

みんなで選ぼう
ネオニコフリー!

要予約
参加費
無料



1 2/23 (水・祝)
14:00~16:00

ネオニコ系農薬
子どもたちへの影響は?

ネオニコ系殺虫剤が市場に導入されて20年あまり。ミツバチやトンボがいなくなっただけでなく、人体への被害も明らかになり、ネオニコは胎盤もすり抜けてしまうことがわかりました。子どもたちを守るために私たちに何ができるのか、ネオニコチノイド研究の第一人者 平久美子さんに教えていただきます。

イベントID
99999999



平久美子さん
東京女子医科大学医師

2 3/21 (月・祝)
14:00~16:00

ネオニコ系農薬
哺乳類の脳神経への影響と毒性評価

農薬は化学物質(環境ホルモン)です。星先生の研究では、これ以下なら異常が認められないと国が定めた量でも、ネオニコを投与されたマウスに行動異常が認められました。さまざまな実験データから、ネオニコチノイドとはどういふものなのか、そして、現在の農業基準の問題点についても教えていただきます。

イベントID
99999999



星信彦さん
神戸大学大学院教授

3 4/22 (金)
10:00~12:00

ネオニコフリーの栽培技術
みどり戦略の実現に向けて

ネオニコ系農薬は最も広く使われている殺虫剤です。散布回数が少なくても効果があるため環境保全型農産物にも使われています。農薬の影響を最も強く受けるのは農家。子どもたちも生産者も環境も守るために、ネオニコ系農薬を使わなくても病害虫に負けない有機栽培について学びましょう。

イベントID
99999999



小祝政明さん
日本有機農業普及協会理事長

※この学習会は (一社) アクト・ビヨンド・トラストの助成により開催しています。

動画を作成

ネオニコフリー動画を見ようキャンペーン

スマホで気軽に視聴できる学習素材で情報発信



アニメビデオ

「みんなで選ぼう ネオニコフリー！」

→YouTube再生回数：18万回



インタビュービデオ

「米や野菜、果物をネオニコフリーに
することから始めよう」

→YouTube再生回数：5830回

JA東とくしま
ネオニコフリー宣言
オーガニック
ビレッジ

協同組合間協同で
地域まるごと無農薬へ

01. 産直米



徳島



熊本



02.

有機農家を
増やす

「有機の学校」以外に
各生協でも地域の農家とともに有機農業推進協議会を立ち上げて
農水省補助事業をとるなどして有機栽培技術講座を行なっています



03.

国産オーガニック小麦

有機小麦1000トンの
バリューチェーンづくり
生産～加工～販売



04.

国産オーガニック加工品

加工品メーカーと連携し、
生産者の国産有機原料の
使い先を広げる商品開発



05.

農産物物流

流通コストを抑えるための
産地とダイレクトに結ぶ
独自物流、共同物流

給食から考えよう 子どもたちの豊かな未来

全国的に拡がりつつある学校給食のオーガニック化。
各地のオーガニック先進地域から取り組みを学びます。
私たちはオーガニック給食実現に向けて何ができるのか、
学校給食と子どもたちの未来について、一緒に考えてみませんか？



開催詳細はこちら



学校及び子ども園の給食における
産地産農産物等の活用に関する協定 調印式



06.

オーガニック給食

食材を公共調達する給食の有機化は
有機農業を拡げることとセット！

各生協で有機農業を拡げて
オーガニック給食をめざしています

07.

農福連携

障がいを持つ人も農業で働く場づくり
「有機農業でしあわせに生きていく」
社会づくりをめざしています



ネオニコフリー
を拡げるために
消費者には力がある！

消費者が選ぶことができるマーク

動画素材

ネットワークでいっしょに

オーガニック & ネオニコフリー給食